


































月日	月 日	月 日	月 日	月 日	
経過	入院日	当日 (治療前)	当日 (治療後)	治療後 1 日目	
目標	心身共に安定した状態で手術が受けられる		出血・穿孔がない 光過敏症による症状がない 行動制限が守れる		
検査	<ul style="list-style-type: none"> 必要な検査は外来で終了 体重、身長測定 		 <ul style="list-style-type: none"> 朝 採血 上部内視鏡検査 	 <ul style="list-style-type: none"> 必要時、検査を行います 	
食事	 <ul style="list-style-type: none"> 20時以降絶食 以後も飲水(水、茶)可能 	 <ul style="list-style-type: none"> 朝昼夕 絶食 当日午前9時まで飲水(水・茶)可能 	 <ul style="list-style-type: none"> 2時間後より飲水(水・茶)可能 	<ul style="list-style-type: none"> 朝より再度絶飲食 上部内視鏡検査後飲水(水・茶)可能  <ul style="list-style-type: none"> 飲水(水・茶)可能 	
	朝食は自宅で				
処置・観察	<ul style="list-style-type: none"> リストバンドを装着します(退院まで) 	<ul style="list-style-type: none"> 点滴の針を留置します 時間になれば、看護師が消化器センターに案内します 	<ul style="list-style-type: none"> 治療後心電図モニターを装着します → 取り外します 		
	 状況に合わせて、体温・脈拍・血圧・酸素飽和度を測定します				
点滴・内服	 持参薬、お薬手帳を看護師にお渡しください	 朝 薬剤を静脈内注射します	 以下の点滴を行います ・持続点滴 ・治療時、夜胃薬点滴	 ・朝、夜 胃薬点滴	 ・朝、夕 点滴 ・朝、夜 胃薬点滴
	 制限はありません  シャワー浴できます	 以下の治療準備をします ・検査着に着替え ・入れ歯、アクセサリ、時計等の取り外し	 治療2時間後よりトイレ歩行のみ可能です 	 病棟内歩行できます	
行動	薬剤を注射後、入院中は強い光を浴びないように過ごします <ul style="list-style-type: none"> ▶ 部屋内は、ブラインド、カーテンを閉め、50ルクス以下の環境とします ▶ テレビ・パソコン→50 cm以上距離をとります ▶ スマートフォンは画面を一番暗くし、連続10分以内で使用できます ▶ 廊下へ→長袖、長ズボン、サングラス、つばのある帽子、手袋を着用します ▶ 治療室へ→毛布をかぶり、車いすかストレッチャーで看護師が移送します 				
	 医師より説明 ・入院治療計画について		 医師より説明 ・治療結果について		
説明	 看護師より説明 ・入院生活について ・治療後の注意点について(室内、洗面所、廊下などの光の強さを一緒に確認します) ・持参物品確認(サングラス、つばのある帽子、手袋2組、長袖、長ズボン)	 薬剤師より説明 ・持参薬確認 ・使用薬剤について			

* 入院に際して、この用紙を必ずお持ちください

* 入院時に栄養状態を評価して栄養管理計画を立てます。定期的に栄養状態の再評価を行い計画を見直します。

* この表はおよその経過をお知らせしたものです。種々の都合により、予定通りではないこともあります。

月日	月 日	月 日	月 日	月 日～ 月 日	月 日
経過	治療後 3 日目	治療後 4 日目	治療後 5 日目	治療後 6 ～ 1 4 日目	退院日 (15 日目)
目標	出血・穿孔がない 光過敏症による症状がない 食事制限が守れる 行動制限が守れる				退院後の食事・日常生活の注意点等について理解できる 光過敏症による症状がない 行動制限が守れる
検査	 必要時、検査を行います	 必要時、検査を行います		 治療後 7 日、14 日目 朝 採血  治療後 1 週間、2 週間前後で 上部内視鏡検査 ・治療 2 週間後、 光線過敏性試験 (手袋 1 組持参)	
食事	医師の指示により流動食を開始します		朝より五分粥食	上部内視鏡検査の朝は絶食	昼食後、外が暗くなつてから退院
	  	  	  	  	 
処置・観察	点滴終了後、点滴の針を抜去します				退院時にリストバンドを外します
	 状況に合わせて、体温・脈拍・血圧・酸素飽和度を測定します				
点滴・内服	 ・朝、夕 点滴 ・朝、夜 胃薬点滴	 朝食後 胃薬を服用します			 退院後処方があります
	 照明を落としてシャワー浴できます (週3回、病棟毎で日が異なります)				・夕方、外が暗くなつてから退院です
行動	薬剤を注射後、入院中は強い光を浴びないように過ごします <ul style="list-style-type: none"> ▶ 部屋内は、ブラインド、カーテンを閉め、500 ルクス以下の環境とします ▶ テレビ・パソコン→50 cm以上距離をとります ▶ スマートフォンは画面を一番暗くし、連続 10 分以内で使用できます ▶ 廊下へ→長袖、長ズボン、サングラス、つばのある帽子、手袋を着用します ▶ 治療室へ→毛布をかぶり、車いすかストレッチャーで看護師が移送します 				薬剤注射後 1 か月は、直射日光を浴びないように過ごします。外出時は長袖、長ズボン、サングラス、つばのある帽子、手袋、日傘を着用します
説明				退院決定後 <ul style="list-style-type: none">  医師より説明 <ul style="list-style-type: none"> ・退院後の治療計画、療養上の留意点について ・普通食再開時期  看護師より説明 <ul style="list-style-type: none"> ・退院後の療養生活について  栄養士より説明 <ul style="list-style-type: none"> ・退院後の食事について 	